※令和４年度以降入学生用

学校番号	３１６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小、中学校の書写で学んだことを発展させて、道具による表現の違いを学びます。
・古典、古筆を通して書の歴史を学び、臨書作品や創作作品の制作、鑑賞を行い、たくさんの書の形に触れ、書のよさや美しさを味わってもらいたいです。
・授業の進め方は、書の歴史の学習、古典や古筆の鑑賞、臨書作品の制作、古典や古筆で学んだ技法を用いた創作作品の制作が主なものになります。
・書の作品制作や鑑賞を通して、自己表現の幅を広げ達成感を味わい、みなさんの日常の中に書道が溶け込んでいけたらと思っています。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を高める。
⑴　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
⑵　書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
⑶　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､多様性について幅広く理解している。(知) ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な能力を身に付け、表している。(技)	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ・漢字の変遷と様々な書	・国語科書写と芸術科書道 ・書道の基本用語 ・用具、用材の特徴 ・漢字の変遷、五書体	a:用具用材の正しい扱い方や特徴を理解している。(表・知) a:書写と書道の違いや、書表現の多様性について理解している。(鑑・知) b:文房四宝のでき方を理解し、その良さを味わって捉えている。(鑑) c:書写と書道の類似点や相違点、五書体に関心を持ち、これからの活動に主体的に取り組もうとしている。(表)	ワークシート 小テスト 作品	ワークシート 作品	授業観察 レポート
	漢字の書・楷書	・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑	a:唐の四大家の古典の特徴や形式、多様性について理解している。(表・知) a:字形や線質による表現方法について理解している。(鑑・知) a:効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(表・技) b:唐の四大家の古典の知識や技能を得たり生かしたりしながら、作品を構想し工夫している。(表) c:漢字の書の伝統と文化に関わり、主体的に技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている。(表)	ワークシート 小テスト 作品	ワークシート 作品	授業観察 レポート

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書・創作	・うちわ作品制作 漢字一字の創作 文字調べ 草稿作成 紙の染色 ・作品鑑賞発表会	a:唐の四大家の古典の特徴や形式、多様性について理解している。(表・知) b:楷書の学習を生かし、作品の意図を明確にして、用筆、運筆、字形などを構想し工夫している。(表) b:制作された作品の良さを味わって捉えている。(鑑) c:作品の制作意図を表現できているか振り返りながら、練習に粘り強く取り組もうとしている。(表) c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、制作された作品の良さや美しさを感じ、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主知的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 鑑賞会
2学期	篆書 篆刻	・泰山刻石 ・姓名印(朱文)の制作 名前の検字 印稿制作	a:篆書の特徴や形式、筆の弾力の活かし方を理解している。(表・知) a:篆書の字形や線質による表現方法について理解している。(鑑・知) a:篆刻の字を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(表・技) b:篆書、篆刻の知識や技能を得たり生かしたりしながら、作品を構想し工夫している。(表) c:作品の制作意図を表現できているか振り返りながら、練習に粘り強く取り組もうとしている。(表) c:篆書、篆刻の作品を鑑賞し、名前を篆書体で調べ篆書に関心を持ち、幅広い鑑賞の活動に主知的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書　行書	・蘭亭序 ・風信帖 　三筆(唐様) 　三蹟(和様)	a:蘭亭序と風信帖の表現方法や形式、多様性について理解している。(表・知) a:行書の字形や線質による表現方法について理解している。(鑑・知) a:行書を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(表・技) b:蘭亭序や風信帖、三筆と三蹟の知識や技能を得たり生かしたりしながら、作品を構想し工夫して表している。(表) c:蘭亭序と風信帖、唐様と和様の書の美や表現方法に関心を持ちながら、主体的に技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている。(表)	ワークシート 小テスト 作品	ワークシート 作品	授業観察 レポート
	漢字かな交じりの書　創作	・漢字と仮名の調和 ・全体の構成 ・カレンダー作品制作 　語句の選定 　文字調べ 　草稿制作 　用具用材の決定 ・作品鑑賞発表会	a:漢字かな交じり文の歴史、漢字の書の表現技法や古典の特徴、漢字と仮名の調和の仕方を理解している。(表・知) a:書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。(表・技) b:漢字の書、漢字と仮名の調和の学習を生かし、作品の意図を明確にして、作品を構想し工夫している。(表) b:制作された作品の良さを味わって捉えている。(鑑) c:作品の制作意図を表現できているか振り返りながら、練習に粘り強く取り組もうとしている。(表) c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、制作された作品の良さや美しさを感じ、作品の意味や価値を考えながら、幅広い鑑賞の活動に主知的に取り組もうとしている。(鑑)	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 鑑賞会

※令和４年度以降入学生用

３学期	仮名の書	・蓬莱切 ・高野切第三種	a:一番省略された用筆法や単純化された筆使い、仮名の歴史、仮名の種類について理解している。（表・知） a:仮名の字形や線質による表現方法について理解している。（鑑・知） a:仮名の書を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。（表・技） b:仮名の墨色や変体仮名、ひらがななどの仮名を用いて、作品を構想し工夫して表している。（表） c:日本独自の仮名の書の美や表現技法に関心を持ち、主体的に技術向上に向けた練習に粘り強く取り組もうとしている。（表）	ワークシート 小テスト 作品	ワークシート 作品	授業観察 レポート
	仮名の書　創作	・はがき作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿制作	a:ひらがなと変体仮名の違い、仮名の書の線質を理解している。（表・知） b:高野切第三種の学習を生かし表現のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、作品を構想し工夫している。（表） b:制作された作品の良さを味わって捉えている。（鑑） c:作品の制作意図を表現できているか振り返りながら、練習に粘り強く取り組もうとしている。（表） c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、幅広い鑑賞の活動に主知的に取り組もうとしている。（鑑）	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 鑑賞会

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度